

令和6年度事業報告

令和7年6月5日提出

社会福祉法人 札幌慈啓会
理事長 太田 眞琴

第1. 事業の状況

1. 令和6年度事業総括
2. 法人本部
3. 総合相談室
4. 研究・研修センター
5. 慈啓会養護老人ホーム
6. 慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム
7. 慈啓会ふれあいの郷高齢者生活福祉センター
8. 慈啓会特別養護老人ホーム（ユニット型）
9. 慈啓会特別養護老人ホーム（従来型）
10. 慈啓会短期入所生活介護事業所（ユニット型）
11. 慈啓会デイサービスセンター（一般型）
12. 慈啓会訪問介護
13. 慈啓会介護総合相談センター
14. 中央区介護予防センター旭ヶ丘
15. 特別養護老人ホーム札幌市稲寿園
16. 稲寿園短期入所生活介護事業所
17. 稲寿園デイサービスセンター
18. 稲寿園訪問介護
19. 稲寿園介護総合相談センター
20. 札幌市菊寿園軽費老人ホーム（A型）
21. 札幌市拓寿園軽費老人ホーム（B型）
22. 慈啓会老人保健施設
23. 慈啓会病院
24. 啓明ともいき保育園
25. 中央区第2地域包括支援センター・中央区第2介護予防支援事業所
26. 中央区第3地域包括支援センター・中央区第3介護予防支援事業所

【裏面】

1. 令和6年度事業総括表 (2024)

社会福祉法人 札幌慈啓会

事業区分	拠点区分	サービス区分/主な事業	主な収入	事業目的・事業内容
社	法人本部	総合相談室 研究研修センター	寄附金・繰入金	定款・規程類の整備、給与・人事管理の総括、予算決算及び資金管理・経営の総括、中・長期計画の算定。 相談窓口・施設連携・地域活動・相談員支援を主な事業とし、近隣地域の福祉向上に寄与する。 研究・研修助成事業及び法人職員研修を実施する。
	慈啓会 養護老人ホーム	慈啓会 養護老人ホーム	措置費	原則として65歳以上で、身体上若しくは精神上又は経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方が入所する。
	慈啓会 ふれあいの郷 養護老人ホーム	ふれあいの郷 養護老人ホーム	介護保険収入 利用者負担金収入	原則として65歳以上で、身体上若しくは精神上又は経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な方が入所する。
	慈啓会 ふれあいの郷 高齢者生活福祉センター	ふれあいの郷 高齢者生活福祉センター	措置費	原則として60歳以上の札幌市民で、高齢等のため居宅において生活することが不安のある方が入居する。
	慈啓会 特別養護老人ホーム	慈啓会 特別養護老人ホーム(従来型) 慈啓会 特別養護老人ホーム(ユニット型) 慈啓会 短期入所施設(ユニット型) 慈啓会 デイサービスセンター(-一般型) 慈啓会 訪問介護	介護保険収入 利用者負担金収入	加齢や疾病等により、入浴、排泄、食事などの動作に障害があり、自宅での生活が困難な入居者に常時介護を提供する(日常生活の世話を重視した生活施設)。又、入居者一人一人の意志及び人格を尊重し、個別ケアを主体として福祉サービスを提供する。 特別養護老人ホームにて、短期間入所しながら、入浴・排泄・食事等の介護や日常生活の世話及び機能訓練を行う。また、要支援者に対しては介護予防を目的としたサービスを提供する。 特別養護老人ホームに併設されたデイサービスホールにて、入浴、食事の提供や日常動作訓練、レクリエーション、送迎などを行う。ホールバーが居宅を訪問し、入浴・排泄・食事などの介護や、掃除・洗濯・炊事など日常生活上の世話をする。 在宅サービス等を適切に利用できるように、心身の状況、環境、本人や家族の希望等を受けて、利用するサービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービス提供確保のため事業者等と連絡調整等を行い、介護保険施設入所が必要な場合は、施設への紹介等を行う。
	慈啓会 介護総合相談センター	慈啓会 介護総合相談センター	委託料	地域包括支援センターの機能を補完する協力機関として、より身近な地域の相談窓口となり、連携協議して介護予防サービスを行う。
	中央区 介護予防センター旭ヶ丘	中央区 介護予防センター旭ヶ丘	委託料	加齢や疾病等により、入浴、排泄、食事などの動作に障害があり、自宅での生活が困難な入居者に常時介護を提供する(日常生活の世話を重視した生活施設)。又、入居者一人一人の意志及び人格を尊重し、個別ケアを主体として福祉サービスを提供する。
	福 稲寿園 特別養護老人ホーム	稲寿園 特別養護老人ホーム	介護保険収入 利用者負担金収入	特別養護老人ホームにて、短期間入所しながら、入浴・排泄・食事等の介護や日常生活の世話及び機能訓練を行う。また、要支援者に対しては介護予防を目的としたサービスを提供する。
	福 札幌市 稲寿園	稲寿園 短期入所施設 稲寿園 デイサービスセンター 稲寿園 訪問介護 稲寿園 介護総合相談センター	介護保険収入 利用者負担金収入	特別養護老人ホームに併設されたデイサービスホールにて、入浴、食事の提供や日常動作訓練、レクリエーション、送迎などを行う。 ホールバーが居宅を訪問し、入浴・排泄・食事などの介護や、掃除・洗濯・炊事など日常生活上の世話をする。 在宅サービス等を適切に利用できるように、心身の状況、環境、本人や家族の希望等を受けて、利用するサービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービス提供確保のため事業者等と連絡調整等を行い、介護保険施設入所が必要な場合は、施設への紹介等を行う。
	社 札幌市 菊寿園 札幌市 拓寿園	札幌市 菊寿園(軽費老人ホームA型) 札幌市 拓寿園(軽費老人ホームB型)	委託料	60歳以上の札幌市民で、家庭環境、住宅事情等の理由により、居宅において生活することが困難な方が入居する。(所得制限あり) A型: 食事付 B型: 自炊
公 益	慈啓会 老人保健施設	入所療養介護 短期入所療養介護 通所リハビリテーション	介護保険収入 利用者負担金収入	病状が安定し、看護・医学的管理の下で介護及びリハビリテーション等を提供し、家庭復帰ができるように支援する療養施設。 老人保健施設にて、短期間入所しながら、看護・医学的管理の下で介護や機能訓練を行う。 老人保健施設にて、理学療法士や作業療法士等によるリハビリテーションを中心とした日帰りサービスを行う。
	慈啓会 病院	診療報酬 利用者負担金収入	診療報酬 利用者負担金収入	傷病者のための科学的でかつ適正な医療を行う。診療科目: 内科、老年内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、精神科、リハビリテーション科、放射線診断科
	啓明ともいき保育園	啓明ともいき保育園(認定こども園)	保育所運営費収入 利用料収入	就労等の理由により保育に欠ける生後5ヶ月から小学校入学前の乳幼児の一人ひとりが、心身ともに健康で、たくましく、思いやりのある子どもに育つ保育と保護者や地域との連携を深めて子育ての負担を減らす。また、満3歳以上の子どもに対する教育と、家庭において養育される事が困難な子どもの保育と合わせて、一体化しての教育・保育を提供する。特別保育事業として、延長保育事業と一時保育事業を行う。
	第2地域 包 括	中央区第2地域 包 括 支援センター	委託料	高齢者が、住み慣れた地域で、自立した生活を継続することができるように、町内会組織などの関係機関と連携し、必要な介護予防の支援を包括的に行う中核機関。
	第2地域 包 括	中央区第2介護予防支援事業所	介護保険収入	要支援状態にある高齢者が、地域で自立した生活を送ることができるように、介護予防のためのサービス計画を作成し、事業者との連携調整を行う介護予防ケアマネジメント事業。
	第3地域 包 括	中央区第3地域 包 括 支援センター	委託料	高齢者が、住み慣れた地域で、自立した生活を継続することができるように、町内会組織などの関係機関と連携し、必要な介護予防の支援を包括的に行う中核機関。
	第3地域 包 括	中央区第3介護予防支援事業所	介護保険収入	要支援状態にある高齢者が、地域で自立した生活を送ることができるように、介護予防のためのサービス計画を作成し、事業者との連携調整を行う介護予防ケアマネジメント事業。

2. 法人本部 2024 (R6)

基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人理念「共生」のもと、社会福祉事業の推進を行った。 2. 法人の経営方針及び中長期経営計画の策定を行う。また、法人 100 周年ビジョンを策定した。 3. 地域における公益的な取組を実施した。 4. 職員の意識・資質の向上に資するため、トータルな人材マネジメントを推進した。 5. コンプライアンス(法令遵守等)の徹底について推進した。 6. 感染症・災害時等の取り組み及び支援を実施した。
重点目標	<p>【経営全般】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法人全体および各拠点の経営について分析・把握・管理を行い、健全な財務規律の確立に取り組んだ。 2. 将来にわたって安定した法人経営を実現するために 2025 年に向けた中期計画、2040 年を見据えた長期計画の策定を進めている。 3. 内部コミュニケーションおよび外部コミュニケーションの充実をはかり横断的な組織風土を目指し、組織のガバナンスの強化を進めた。 4. 全ての業務分野において、サービスの質的向上に繋げるべく DX (デジタルトランスフォーメーション / デジタル技術による業務変革) を推進し、業務の効率化・省力化等、業務改善の取り組みを進めた。 5. 新型コロナウイルス感染症の取り扱いの変更等を含め情報収集および各拠点への発信を行った。予防の徹底、長期的視点で法人全体の事業継続が可能となるよう対策を講じている。 <p>【地域における公益的な取組】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法人及び各拠点が行う地域福祉事業を支援した。 2. 災害時における福祉施設の広域的な取組を推進した。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自然災害や新型コロナウイルス等感染時の緊急事態に備え作成した事業継続計画(感染症編・災害編)について、より確度の高いものへアップデートを行うべく調整や研修を実施した。 (2) 石狩・後志・空知地区の要援護者等の支援センター及び拠点法人として、情報集約や連絡調整業務、緊急時機器の管理・配備を行っている。 (3) 地域の「買い物困難地区」へ他法人との協働での支援実施にむけて協議を進めている。 <p>【人事・職員処遇】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人材確保は、ホームページや SNS を使った法人の発信継続と併せ、就職セミナー等の集合形式や紙媒体による求人だけでなく、法人独自の採用向上策を講じた。 外国人受け入れについての支援や調整を進め、介護系カリキュラムを有する高校の生徒を対象としたリクルート活動は継続。離職防止の対策をプロジェクトを組織し取り組みを開始している。 2. 人事制度や給与制度等の改正についてプロジェクトを立ち上げるべく、検討を進めている。 3. 働き方改革に沿ってその時代に合った法人諸制度の改正を継続的に協議を進めている 4. 法人の事業継続のための次世代人材育成を目的とする次世代プロジェクトでは、今後法人を担っていくべき人材を対象として法人全体経営を学ぶ場を提供した。(レクチャーは通算 37 回の開催) 5. 労働安全衛生管理を推進する。法人統括衛生委員会活動の充実、職員対象の心の相談室「ひだまり」の運営や研修会の開催等により、職員が働きやすい環境に配慮した。職員全体の DX 化に対するリテラシー向上を進めた。 <p>【財務】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法人全体における経理規定の周知と遵守を徹底を継続した。 2. 法人ルールの周知と、法人の事務担当職員における社会福祉法人会計の基礎実務向上に取り組んだ。 3. 従来の会計プロセスやワークフローを見直し、適正化を進めた。 4. インボイスや電子帳簿等の法改正に対応するための対応を実施し、会計ソフトとの一元管理を目指しシステム整備を進めたが、実務上非効率となったため、当該運用は中止し従来の方法を継続する形に見直した。 <p>【コンプライアンス・リスク管理】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法人理念の理解と倫理綱領・法令遵守等について、法人ビジョンの再認識促進と法人研修等を実施。 2. ハラスメント対応について研修を実施した。 3. 情報管理におけるガバナンスの整備を継続した。 4. 裁判例に基づいた就業規則全般の見直しを開始した。 <p>【広報・情報開示】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ホームページや各種 SNS 等を活用し、地域における公益的な取り組みの情報公開や求人活動の PR 等を通じて、法人の発信力の強化を図った。 2. 2025 年(令和 7 年)の法人創設 100 周年に向け、「法人ビジョン作成プロジェクト」「法人開設 100 周年事業プロジェクト」の活動を継続した。「法人ビジョン 2025」を策定し、職員への周知を進めるとともに、記念事業の計画を進行させている。 <p>【契約事務】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 給食業務について、R 8 年度の公募・プロポーザル方式による契約更改に向けて準備を進めている。 2. 紙オムツの単価契約について、契約を適正に更改した。 3. その他、各拠点の意向を確認しながら、契約の更新・更改を図った。

3. 総合相談室 2024(R6)

1) 相談受付

①総合相談件数

方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計													
電話・直通	10	10	23	23	16	16	25	25	50	50	42	42	38	38	25	24	28	27	25	25	45	44	31	30	##	##
来訪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
その他	1	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	5													
総数	11	23	18	25	50	42	38	27	28	25	45	31	363													

*その他は郵便、メール、留守電等

②相談内容(複数入力可)

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	1	2	0	0	1	2	1	3	0	0	0	1	11
慈啓会病院	1	0	4	0	0	1	2	1	2	0	2	0	13
老健	0	1	2	1	1	1	1	0	0	2	0	0	9
養護	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	4
軽費	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	4
予防センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
居宅	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
包括	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
ショート	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	3
通所サービス	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ヘルパー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活支援ハウス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人外施設紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	9	19	12	23	47	39	34	22	25	23	42	27	322
合計	11	23	18	25	50	44	40	27	28	25	45	34	370

2) 見学案内

実施件数:4件

見学者総数:7名

3) 会議参加

会議名	出席回数	会議名	出席回数
役員会	5	入所判定会議(特養)	9
月例会	12	入所判定会議(稲寿園)	10
経営会議	11	本部部長会議	49
四役会	15	相談員連携会議	6
医療連携会議	3	人事考課委員会	2
日福大連携法人会議	5	懲戒委員会	1
中央区合同認知症力フェ会議	12	特養会議	1

4) 会議開催

会議名	出席回数
苦情解決第三者委員会	2
次世代PJT	11
100周年記念PJT	8
人材PJT	9
本部連絡会議	12

5) 連携・調整

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
慈啓会特養	4	10	2	7	7	11	6	5	4	6	6	5	73
慈啓会病院	6	7	3	6	4	9	7	6	4	8	9	2	71
慈啓会老健	5	10	4	8	6	9	7	3	6	7	8	7	80
慈啓会養護	5	8	1	6	4	11	7	4	4	5	5	3	63
稲寿園	5	8	1	7	4	10	7	4	4	4	4	3	61
ふれあいの郷	2	9	1	8	4	9	8	3	3	6	4	3	60
拓寿園・菊寿園	4	12	3	17	8	21	13	7	6	8	9	4	112
予防センター	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1		2
居宅	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1	6
包括支援センター	9	12	9	14	10	20	12	7	11	11	10	5	130
在宅サービス	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1		2
保育園	2	6	1	7	4	9	8	4	3	6	5	2	57
法人外施設	12	14	8	28	12	13	12	18	15	5	18	12	167
合計	54	97	34	109	64	122	87	62	60	67	81	47	884

6) その他

・広報誌共生発行 7月(15号)、1月(16号)

4. 研究・研修センター

2024 (R6)

1) 助成事業「さっぽろ慈啓会共生（ともいき）助成事業」

会議 運営委員会 3回（6月7日、10月17日、R7年2月3日 ZOOM開催）
審査委員会 2回（6月28日 ZOOM開催、R7.2月 書面開催）

・2024年度助成事業

助成事業公募方法 札幌医大・星槎大学へ案内
法人ホームページ・医療新聞・介護新聞への掲載

募集応募： 1件
助成決定： 1件 申請総額 500,000円
実績報告： 1件 助成総額 500,000円

・2025年度助成事業

助成事業公募方法 札幌医大 他道内福祉系学科のある大学9校へ案内
法人ホームページ、医療新聞、介護新聞への掲載
課題募集期間 2025年4月1日～4月30日

2) 研修企画

法人研修開催 14回

・「令和6年度 新採用者オリエンテーション」

【講師】 法人本部職員各担当者
【開催日・参加者数】 集合開催 令和6年4月1日（月） 29名 / 4月2日（火） 26名

・メンタルヘルス研修 「己を知り、相手を知る（自己覚知について）」

【講師】 札幌国際大学 人文学部 心理学科 教授 澤田 信也 氏
【開催日・参加者数】 Zoom開催 令和6年5月23日（木）17:45～18:45 326名（録画視聴含む）

・虐待・身体拘束・行動制限研修 「虐待について」「身体拘束・行動制限について」

【講師】 札幌市中央区第2地域包括支援センター相談課長 山本 雅章 氏
【開催日・参加者数】 Zoom開催 令和6年6月27日（木）17:45～18:30 336名（録画視聴含む）

・組織研修 「心理的安全性の構築～組織の成長と人材定着のために～」

【講師】 専務理事/事務局長 今 真一 氏
【開催日・参加者数】 Zoom開催 令和6年7月24日（水）17:45～18:45 349名（録画視聴含む）

・新採用職員フォローアップ研修 「ミニ講座～働くうえでの豆知識」・振り返りシート（3ヶ月）

【講師】 法人本部 福祉/経営企画部長 蝦名 真 氏
【開催日・参加者数】 集合開催 令和6年7月25日（木）16:00～16:30 1名

・認知症研修 「認知症の人からみた地域と制度」

【講師】 慈啓会特別養護老人ホーム 介護課長 干場 有里子 氏
【開催日・参加者数】 Zoom開催 令和6年8月29日（木）17:45～17:30 306名（録画視聴含む）

・接遇研修 「利用者、患者様、ご家族、保護者の方に対する接遇・マナーについて」

【講師】 コミュニケーション・ビジネスマナー講師 三品 あおい 氏
【開催日・参加者数】 集合・Zoom開催 令和6年9月26日（木）17:45～18:45 337名（録画視聴含む）

・BCP研修 「過去の災害から学ぶBCP対策」

【講師】 特別養護老人ホーム札幌市事務課長 高橋 範祥 氏（録画視聴含む）
【開催日・参加者数】 Zoom開催 令和6年9月30日（月）17:45～18:10 327名（録画視聴含む）

・感染症研修 「感染症について」

【講師】 北海道医療大学大学院 看護福祉学研究科 臨床看護学講座 石角 鈴華 氏
【開催日・参加者数】 Zoom開催 令和6年10月28日（月）17:45～18:45 354名（録画視聴含む）

・安全運転研修 「事故に遭わない、起こさないために」

【講師】 MS&ADインターリスク総研 株式会社 講師 小原 隼人 氏
【開催日・参加者数】 Zoom開催 令和6年11月21日（月）17:45～18:45 307名（録画視聴含む）

・権利擁護研修 「権利擁護について」

【講師】 札幌市中央区第3地域包括支援センター センター長 小林 智巳 氏
【開催日・参加者数】 Zoom開催 令和6年12月23日（月）17:45～18:30 348名（録画視聴含む）

・事故防止研修 「医療事故・介護事故の原因と対策について」

【講師】 慈啓会病院 地域医療連携担当部長 鎌田 宏典 氏
【開催日・参加者数】 Zoom開催 令和7年1月23日（木）17:45～17:30 362名（録画視聴含む）

・コンプライアンス研修 「コンプライアンス≡法令遵守～事業継続のために～」

【講師】 専務理事/事務局長 今 真一 氏
【開催日・参加者数】 Zoom開催 令和7年2月17日（月）17:45～17:30 378名（録画視聴含む）

・新採用職員フォローアップ研修 「職場のコミュニケーション～アサーション」・振り返りシート（12ヶ月）

【講師】 法人本部 相談主任 松本 美由紀 氏
【開催日・参加者数】 集合開催 令和7年3月27日（木）16:00～16:30 1名

3) 国内派遣研修・海外研修 ・ 国内派遣研修 実績あり（1件）： 東京 2名 384,153円

・ 海外研修 実績なし

4) その他 ・ 生活援助従事者研修：休止中 ・ 介護職員初任者研修：応募者数が規定に満たなかったため実施せず

5. 慈啓会養護老人ホーム（定員80名） 2024（R6）

（令和6年度事業報告書）

（1）利用状況等

	在籍者数 （年度末現在）	年 齢 （年度末現在）						年度内入退所		年度内入院者		
		最低		最高		平均		入所	退所	慈啓会	その他	
男	18	最低	67	最高	93	平均	81.2	2	2	1	3	
女	62	最低	75	最高	105	平均	87.7	16	14	5	12	
計	80						平均	86.2	18	16	6	15

・在籍率 97.7%（毎月1日現在在籍数） ・利用率 96.9%（在籍延日数）

（2）防災訓練実施状況

- ・夜間想定避難訓練 R6/12/25(旭ヶ丘4施設合同)、R7/2/21(養護単独、防災協会立会い)
- ・土砂災害想定訓練 R7/3/17

（3）行事・クラブ実施状況

- ・定例 歌クラブ、すこやか体操、誕生会、園内喫茶（家族交流会）、防災訓練、折り紙教室、懇談会は各階毎に実施し、月行事の確認や感染予防その他注意喚起、誕生者のお祝いの実施
- ・季節行事 買い物バスレク、養護夏祭り、ゲーム大会、盆踊り大会（アイス提供）、敬老祝賀会、クリスマス会、年越し会、新年会、獅子舞、宝引き（ゲーム大会）、節分豆まき

（4）給食実施状況

- ・健康維持のため栄養の過不足がないよう食事ができるように努めた。
- ・物価高騰による食材費の不足分を行事食費で補い日常の食事の品質の低下を最小限にした。
- ・非常用保存食は入れ替えに伴い、可能な限り加工せずに食べられる食品を増やした。

（5）保健衛生実施状況

- ・内科と精神科の定期診察に加え、外部の整形外科及び歯科の往診を継続した。
- ・心身の状況把握のため、年1回の脳検診で長谷川式簡易知能評価スケールを継続した。
- ・R6.11～R6.12 コロナクラスター発生し、入所者11名、職員5名の計16名が罹患した。

（6）職員研修実施状況

- ・法令に則った事故防止等必要な施設内研修の実施と、法人研修、外部研修へそれぞれ参加した。

（7）固定資産取得状況等（大規模修繕を含む）

- ・R6.5 事務所・栄養室エアコン¥800,000 ・R6.6 2階談話室冷蔵庫¥257,180
- ・R6.10 エレベーター部品交換¥1,095,600、地下貯蔵タンクライニング工事¥2,398,000
- ・R7.1 ボイラー熱交換器取替工事¥1,177,000

（8）主要委員会

- ・事故防止・感染対策委員会(各11回)、身体拘束適正化・虐待防止検討委員会（各4回）、行事委員会(11回)、広報誌（2回発行）

（9）事故発生状況

- ・事故報告（転倒6件、誤薬2件、私物破損1件）9件、ヒヤリハット（転倒35件、尻もち5件、打撲5件、その他2件）55件

（10）苦情の状況等

- ・なし

（11）数値目標に対しての結果について

- ・毎月一日の在籍80名確保は年度内通して4ヶ月のみの達成となった。
- ・介護報酬について、在籍者確保ができなかったことも影響し目標の3,700万円を達成できず。

6. 慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム(定員100名) 2024(R6)

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢						年度内入退所		年度内入院者			
		(年度末現在)						入所	退所	慈啓会	その他		
男	16	最低	76	最高	94	平均	84	4	3	0	0		
女	84	最低	70	最高	103	平均	86	20	20	14	43		
計	100							平均	85	24	23	14	43

・平均稼働率 100%(毎月1日現在在籍数) 95.75%(1年間の現在数(入院者を除く)÷(定員×365日))

(2) 防災訓練実施 ①7月25日 ②10月15日(夜間火災検証訓練) ③2月25日(水害想定訓練) ④3月25日(日中地震想定)

(3) 行事・クラブの実施状況

- ・行事: 園内喫茶(5回)、上映会(2回)、夏祭り、敬老会(式典・コンサート)、ふれあい神社、節分甘酒会、ひなまつり会、サツドラ買い物デー、誕生会(毎月)、きらく会ゲーム大会、年忘れ会新年会、土用の丑の日。
- ・クラブ活動: ゲートボール(火曜)、書道(水曜)、カラオケ(第1・3金曜)、転倒予防(第2・4金曜)
- ・園芸(花・野菜作り) 5月～10月までの期間 9名
- ・運動クラブ(月1回)

(4) 給食の実施状況

- ・入居者の食事に関する情報は他セクションと共有し、委託業者との連携により速やかに対応した。
- ・コロナ禍での楽しみの一つとなる企画として、月に1回「日本全国ご当地献立」を実施した。

(5) 保健衛生

- ・年2回の定期健康診断実施、日常の体調変化など嘱託医と報告しあい、早期発見・対応することが出来た。
- ・緊急受診および入院時には速やかな対応とともに、日頃から添書等関係書類実施、地域の医療機関と連携を図れるよう務めた。
- ・家族、身元引受人と連絡を密にし、救急搬送、入院、治療等への同意をスムーズに進める事ができた。
- ・集団感染のリスクや感染予防方法について、繰り返し懇談会等で入居者に説明周知を行った。
- ・発熱や症状あった場合や、退院時等コロナ抗原検出キットを実施し、数日間の個室対応等感染防止対策を行った。
- ・入居者家族、職員、職員家族等の体調不良の情報共有し早期発見に努め、新型コロナウイルス感染者の発生を最小限に抑えた。

(6) 職員研修実施状況

- ・法人研修(12回)・職場内研修(10回)・外部研修(1回)
- 感染症対応力向上研修、養護老人ホーム職員研修会、全国老協北海道ブロック研修大会、他

(7) 固定資産取得状況等

- ・消防設備(スプリンクラー設備・弁交換)、ティーサーバー2台、座シャワー、ガステーブル、日産キャラバン

(8) 主要委員会

- | | | | |
|-----------------|----------|------------|--------|
| ・防災 3回(避難訓練の反省) | ・給食 12回 | ・事故防止対策 4回 | ・研修 1回 |
| ・行事 11回 | ・苦情 0回 | ・感染症対策 15回 | ・広報 0回 |
| ・職員会議 12回 | ・身体拘束 4回 | ・虐待防止 4回 | |

(9) 事故発生状況

- ・転倒 12件(内 骨折6件) ・誤薬 6件 ・その他(カラスの襲撃)1件

(10) 苦情の状況等

- ・0件

(11) その他

① 町内会との交流状況

町内会との植栽活動 5月上旬 実施
 コロナ禍のため、町内会から花苗の提供を受け職員入所者で植栽を実施。

② さわらび幼稚園との交流 10月18日お遊戯交流、11月8日お食事交流

③ 札幌市手稲区保健福祉部見学会及び情報交換会(稲寿園とふれあいの郷2施設合同実施)

④ 社会貢献活動

地域のゴミ拾い活動 屋外活動であるため感染対策を行い5月10日～10月11日の期間で実施
 (計 9回 延参加人数:入居者 57名・職員 30名)

【数値目標に対しての結果について】

- ・待機者数目標を常時「15名」以上確保するとしたが、退所者が増加し入所待機期間が早まった為年間平均13.6名に留まった。なお、実質的待機者数は平均11名となった。目標には届かなかったが手稲区保健福祉部・保護課担当者との情報交換会により紹介していただく件数が増加した。
- ・特定サービス収入を年間平均額「332万円」以上としていたが、350万9千円となり達成した。

7. ふれあいの郷 生活支援ハウス(定員20名) 2024(R6)

(1) 利用状況等											
	在籍者数 (年度末現在)	年齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院件数	
		最低		最高		平均		入所	退所	慈啓会	その他
男	0	最低	0	最高	0	平均	0.0	0	0	0	0
女	20	最低	72	最高	91	平均	79.5	3	2	0	6
計	20					平均	79.5	3	2	0	6

・平均稼働率 92.08%(毎月1日現在在在所数) 91.73%(1年間の現在数(入院者を除く)÷(定員×365日))

(2) 防災訓練4回実施(養護と合同及びシミュレーション)
 第1回. 7月25日 第2回. 10月15日(夜間想定検証訓練)
 第3回. 2月25日(水害避難訓練) 第4回. 3月25日(日中地震想定)

(3) 行事・クラブの実施状況

- ・懇談会・敬老の日(式典・コンサート)・ゲートボール(毎週1回)
- ・書道(毎週1回)・転倒予防体操(毎月2回)・食糧品等買い物日(毎週1回)
- ・園内喫茶(5回)・上映会(2回)・節分甘酒会
- ・園芸(花・野菜づくり)活動 4名

季節行事 ・新緑の昼食会・夏祭り昼食会・敬老の日昼食会・開園記念昼食会・年越昼食会
 ・新年昼食会 ・ひな祭り昼食会

(4) 給食の実施状況
 管理栄養士による栄養講話 1回

(5) 保健衛生
 年2回健康診断を実施し、病気の早期発見、早期治療を心がけ健康維持に努めた。
 季節型インフルエンザ予防接種を1回行うほか、新型コロナウイルス対応を行なった。
 (外出・面会の制限等については、感染状況等に合わせて緩和している。)
 手指消毒・うがい・マスクの着用等の励行をお話しし感染予防対策を行う。

(6) 職員研修実施状況
 法人職員研修 (12回) 内部研修 (10回) 外部研修 (2回)

(7) 固定資産取得状況等
 ・居室電力計

(8) 苦情の状況
 懇談会や日常のコミュニケーション等で意見・要望を把握し対応しており、意見箱や
 苦情委員会に寄せられた苦情等は0件。

(9) その他
 社会貢献活動として地域のゴミ拾い活動7回実施(参加者2名)
 居室20室の換気扇の清掃

8. 慈啓会特別養護老人ホーム（ユニット型:定員80名） 2024(R6)

(1)利用状況

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者		介護度 (年度末現在)	
		最低	59	最高	96	平均	80.7	入所	退所	慈啓会	その他	男	女
男	20							11	8	8	10	3.50	
女	59	最低	69	最高	104	平均	90.3	25	30	30	21	4.20	
計	79					平均	88.2	36	38	38	31	4.00	

・年間平均稼働率 93.8 % (1年間の現在数(入院者・外泊者を除く) ÷ 定員 × 365日)

(2)防災訓練実施状況 ①12月(4施設合同*老健担当・防火):夜間想定 ②3月:夜間想定→書面

(3)行事・クラブの実施状況

- ①定例行事 (ご家族参加の行事)夏祭りは駐車場にて開催。敬老の日は式典を開催。盆踊りは室内にて開催(室内行事)開設記念、クリスマス会、忘年会、新年会、節分、ひなまつり
- ②レク等 花見、バーベキュー、ハロウィン、茶話会、歌の会、紙芝居、その他

(4)給食の実施状況

- ①入所の誕生会食、行事食の提供(クリスマス、年末年始、新年会、節分、ひな祭り)
- ②褥瘡ケア、排泄ケアとして補助食品を用意し必要な場合に随時提供
- ③厨房設備の点検修理(フードプロセッサ、食器洗浄機、食器乾燥機)
- ④療養食加算の算定

(5)保健衛生

- ①令和6年度施設内コロナ感染対応計10回 感染対策の確認・周知と感染拡大への取り組みを実施した。□
5類移行後も食事介助時や口腔ケア時にはフェイスシールド・ゴーグル使用と、日常的には標準予防策の実施を徹底した□
- ②家族面会については、感染状況を考慮したうえで制限解除に向け検討し実施した
- ③感染マニュアルの見直し・周知

(6)職員研修実施状況

内部研修:事故防止・感染症・虐待防止・排泄ケア・認知症ケア・身体拘束廃止・褥瘡予防・看取りに関する講習会等
外部研修:全国老人福祉施設大会・研究会議、カスタマーハラスメント、科学的介護情報システム研修会、施設ケアマネジメントの本質を学ぶ、デリシャストップ2024、第49海浄土宗社会福祉協会中央研修会、等

(7)固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

本館4階C シャープ冷蔵庫

(8)主要委員会の実施状況

(定例開催) 所屬長会議、事故防止・感染症対策・身体拘束廃止、虐待防止、給食、褥瘡予防
看取りケア、生産性向上、認知症、排せつ、入所検討ほか

(9)事故発生状況(ユニット型・従来型合計)

転 倒		転 落		ずり落ち		外 傷		誤 嚥		異 食	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
46	0	11	0	16	2	12	1	0	0	0	1
龍標施設無断外出		熱傷・凍傷		暴力・暴言		誤薬		その他		合 計	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
0	0	1	0	1	0	5	0	2	2	94	6

A=アクシデント I=インシデント

札幌市報告対象の事故

ユニット型	4
従来型	7

(10)苦情の状況等

0件

(11)その他

- ①ボランティア 紙芝居・手品・歌の披露/車椅子清掃・洗濯ものたたみ等の軽作業(2団体3個人)
- ②世代間交流 啓明ともいき保育園の児童による施設訪問(2回)旭丘高校合唱部による合唱(1回)
- ③見学 新型コロナウイルス対策を実施しつつ、受け入れを開始した
- ④実習・体験学習 養成校の実習生については、入所、通所どちらの受け入れも可能(感染対策を徹底しながら)とし、計6校15名の実習生を受け入れた。
- ⑤木洩れびの家 地域の住民や団体、施設サービス利用者の交流や散歩途中の憩いの場所等を目的とした活動

【木洩れびの家利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者	18	17	25	22	22	19	17	12	16	14	16	9	207
家族	5	3	1	1	3	3	4	4	6	2	8	6	46
職員	6	5	12	6	4	1	2	3	3	3	5	6	56
実習生	0	0	0	1	1	0	0	2	2	0	0	0	6
一 般	31	21	33	25	36	25	22	24	22	31	25	14	309
合 計	60	46	71	55	66	48	45	45	49	50	54	35	624

(12)数値目標

(目標)稼働率97.0% → (実績) 稼働率93.8% = 稼働率 -3.2%未達成

9. 慈啓会特別養護老人ホーム（従来型:定員70名）

2024(R6)

(1) 利用状況

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)					年度内入退所		年度内入院者		介護度 (年度末現在)		
		最低	62	最高	98	平均	79.6	入所	退所	慈啓会	その他	男	女
男	9	最低	62	最高	98	平均	79.6	2	2	0	2	男	4.10
女	60	最低	73	最高	106	平均	89.8	22	21	20	15	女	4.20
計	69					平均	88.5	24	23	20	17	平均	4.20

・年間平均稼働率 96.5%(1年間の現在数(入院者・外泊者を除く)÷定員×365日)

(2) 防災訓練実施状況 ①12月(4施設合同*老健担当・防火):夜間想定 ②3月:夜間想定→書面

(3) 行事・クラブの実施状況

- ① 定例行事 (ご家族参加の行事)夏祭りは駐車場にて開催。敬老の日は式典を開催。盆踊りは室内にて開催(室内行事)開設記念、クリスマス会、忘年会、新年会、節分、ひなまつり
- ② レク等 花見、バーベキュー、ハロウィン、茶話会、歌の会、紙芝居、その他

(4) 給食の実施状況

- ① 入所の誕生会食、行事食の提供(クリスマス、年末年始、新年会、節分、ひな祭り)
- ② 褥瘡ケア、排泄ケアとして補助食品を用意し必要な場合に随時提供
- ③ 厨房設備の点検修理(フードプロセッサ、食器洗浄機、食器乾燥機)
- ④ 療養食加算の算定

(5) 保健衛生

- ① 令和6年度施設内コロナ感染対応計10回 感染対策の確認・周知と感染拡大への取り組みを実施した。
5類移行後も食事介助時や口腔ケア時にはフェイスシールド・ゴーグル使用と、日常的には標準予防策の実施を徹底した
- ② 家族面会については、感染状況を考慮したうえで制限解除に向け検討し実施した。
- ③ 感染マニュアルの見直し・周知

(6) 職員研修実施状況

内部研修:事故防止・感染症・虐待防止・排泄ケア・認知症ケア・身体拘束廃止・褥瘡予防・看取りに関する講習会等
外部研修:全国老人福祉施設大会・研究会議、カスタマーハラスメント、科学的介護情報システム研修会、第4回浄土宗社会福祉協会中央研修会、施設ケアマネジメントの本質を学ぶ、デリシャストップ2024 等

(7) 固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

介護ソフトほのぼのNEXT(ライセンス追加) / 南館3階特浴 マリンコート リモ

(8) 主要委員会の実施状況

(定例開催) 所属長会議、事故防止・感染症対策・身体拘束廃止、虐待防止、給食、褥瘡予防
看取りケア、生産性向上、認知症、排せつ、入所検討ほか

(9) 事故発生状況 (ユニット型・従来型合計)

転 倒		転 落		ずり落ち		外 傷		誤 嚥		異 食	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
15	4	6	0	11	1	9	1	0	0	0	0
難棟難設無断外出		熱傷・凍傷		暴力・暴言		誤薬		その他		合 計	
A	I	A	I	A	I	A	I	A	I	A	I
0	0	0	0	0	0	6	3	6	4	53	13

札幌市報告対象の事故

ユニット型	4
従来型	7

A=アクシデント I=インシデント

(10) 苦情の状況等

0件

(11) その他

- ① ボランティア 紙芝居・手品・歌の披露/車椅子清掃・洗濯ものたたみ等の軽作業(2団体3個人)
- ② 世代間交流 啓明ともいき保育園の児童による施設訪問(2回)・旭ヶ丘高校合唱部による合唱(1回)
- ③ 見学 新型コロナウイルス感染症対策を実施しつつ、受け入れを開始した
- ④ 実習・体験学習 養成校の実習生については、入所、通所どちらの受け入れも可能(感染対策を徹底しながら)とし、計6校15名の実習生を受け入れた。
- ⑤ 木洩れびの家 地域の住民や団体、施設サービス利用者の交流や散歩途中の憩いの場所等を目的とした活動

【木洩れびの家利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者	18	17	25	22	22	19	17	12	16	14	16	9	207
家族	5	3	1	1	3	3	4	4	6	2	8	6	46
職員	6	5	12	6	4	1	2	3	3	3	5	6	56
実習生	0	0	0	1	1	0	0	2	2	0	0	0	6
一 般	31	21	33	25	36	25	22	24	22	31	25	14	309
合 計	60	46	71	55	66	48	45	45	49	50	54	35	624

(12) 数値目標

(目標) 稼働率97.0% → (実績) 稼働率96.5% = 稼働率-0.5%未達成

10. 慈啓会短期入所生活介護事業所(ユニット型:定員10名)

2024(R6)

(1) 利用状況等

	利用のべ人数	利用のべ日数	平均利用日数	利用者介護度								
				支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	申請中等	計
男	96	732	7.63	0	1	8	59	19	6	3	0	96
女	302	1,896	6.28	0	2	82	60	60	74	24	0	302
計	398	2,628	6.60	0	3	92	126	80	79	27	0	398

稼働率 72.0%

(2) 食事数及び送迎状況

送迎回数			食事数			
迎え	送り	合計	朝食	昼食	夕食	合計
445	445	890	2,092	2,561	2,097	6,750

(3) 防災訓練実施状況

- ①12月(4施設合同*特養担当・防火):夜間想定 ②3月:夜間想定→書面

(4) 行事・クラブの実施状況

- ①定例行事 (ご家族参加の行事)夏祭りは駐車場にて開催。敬老の日は式典を開催。盆踊りは室内にて開催(室内行事)開設記念、クリスマス会、忘年会、新年会、節分、ひなまつり
- ②レク等 花見、バーベキュー、ハロウィン、茶話会、歌の会、紙芝居、その他

(5) 給食の実施状況

- ①入所同様誕生会食、行事食の提供(クリスマス、年末年始、新年会、節分、ひな祭り)、おやつレクの実施
- ②療養食加算の算定
- ③厨房設備の点検修理(フードプロセッサー、食器洗浄機、食器乾燥機)

(6) 保健衛生

- ①感染対策の確認・周知とSS利用時には体調確認を利用前1週間実施し施設内の感染拡大への取り組みを実施した。5類移行後も食事介助時や口腔ケア時にはフェイスシールド・ゴーグル使用と日常的には標準予防策の実施を徹底した。
- ②家族面会については、感染状況を考慮したうえで制限解除に向けた面会方法を検討し実施した。
- ③感染マニュアルの見直し・周知

(7) 職員研修実施状況

- 内部研修:事故防止・感染症・虐待防止・排泄ケア・認知症ケア・身体拘束廃止・褥瘡予防・看取りに関する講習会等
- 外部研修:全国老人福祉施設大会・研究会議、カスタマーハラスメント、科学的介護情報システム研修会、施設ケアマネジメントの本質を学ぶ、デリシャストップ2024、第49海浄土宗社会福祉協会中央研修会、等

(8) 固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)

新規取得はなし

(9) 各委員会等の実施状況

- (定例開催) 所属長会議、事故防止・感染症対策・身体拘束廃止、虐待防止、給食、褥瘡予防委員会、看取りケア、生産性向上、認知症、排せつ、入所検討ほか

(10) 事故発生状況

転倒	転落	ずり落ち	外傷	誤嚥	異食	合計
7	0	1	0	8	0	0
無断外出	凍傷	暴力	誤薬	その他		
1	0	0	0	0	0	22

札幌市報告対象の事故

短期	4
----	---

A=アクシデント I=インシデント

(11) 苦情の状況

なし

(12) 数値目標

(目標) 稼働率80.0% → (実績) 稼働率 72.0% = -8.0% 未達成

11. 慈啓会デイサービスセンター(一般型) 2024(R6)

〔1〕 利用状況 (令和7年3月末日現在)

	要支援		要介護					計
	1	2	1	2	3	4	5	
実人員	15	16	48	24	7	7	0	117
延利用数	464	1278	3436	2071	1025	385	15	8,674

〔2〕年度内新規・廃止利用者

	合計
新規利用者	53
廃止利用者	35

〔3〕年齢(令和7年3月末日現在)

	在籍者	最低	最高	平均
男	25	67	95	83
女	92	75	99	88
合計	117			85

〔4〕稼働率

	平均/定員	稼働率
一般型	28.3人/35名	80.9%

新規内訳	
慈・居宅	10
2包	7
3包	14
他事	22

廃止内訳	
施設入所	15
入院継続により打ち切り	3
逝去	8
転居	2
他サービス利用	1
その他	6

〔5〕苦情数・事故数

苦情数 - 0 件

事故数 - 15 件

転倒5件、自宅玄関に手を挟める5件

施錠忘れ1件、誤薬1件、バルーン外れ1件

車いす固定忘れ1件、補聴器の外し忘れ1件

〔6〕行事の実施状況

誕生会(毎月1週間) ・温泉の日 (毎月第4週目の1週間)

- ・5月 お花見
- ・7月 夏祭り
- ・9月 敬老週間
- ・10月 スイーツ週間
- ・12月 クリスマス会
- ・1月 新年会、初詣
- ・2月 雪まつりドライブ

<毎月>

- ・月替わり体操&ゲーム(毎日)

〔7〕行事食の実施状況

- ・誕生会食 ・夏祭り ・敬老会食 ・クリスマス会食 ・新年会(鍋)、節分食、ひな祭り食、開設記念食

〔8〕実習生受け入れ状況

- ・介護福祉士等実習生 0名/介護等体験職場実習 1名

〔9〕数値目標

(目標) 稼働率82.9% → (実績) 稼働率80.9% = 稼働率達成月は4月、3月のみ

〔10〕固定資産取得状況等

新規取得はなし

12. 慈啓会訪問介護

2024(R6)

令和6年度

1. ホームヘルパー数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤ヘルパー	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
登録ヘルパー	5	5	5	5	5	8	5	5	5	5	5	5
合計	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8

2. 利用人員と要介護度別利用者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	実人員 延利用数												
要支援 1	22	23	27	27	28	29	30	31	33	33	32	32	29
	81	89	97	100	100	104	107	108	109	102	116	115	1,228
要支援 2	31	35	33	34	35	35	34	33	31	30	31	32	33
	138	157	135	154	159	159	158	140	118	126	126	128	1,698
要介護 1	18	18	16	15	16	16	18	18	17	15	17	17	17
	86	83	64	73	65	69	89	91	70	60	76	83	909
要介護 2	3	3	5	5	5	5	4	5	6	5	5	5	5
	26	31	31	35	34	34	32	28	31	34	35	34	385
要介護 3	3	2	2	2	1	1	1	2	4	4	3	3	2
	16	14	12	11	4	4	3	8	23	28	19	20	162
要介護 4	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0
	0	0	0	0	0	0	4	5	3	3	3	0	18
要介護 5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	9	9	8	9	9	7	10	8	5	8	8	8	98
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	78	82	84	84	86	87	89	91	93	89	90	90	87
	356	383	347	382	371	377	403	388	359	361	383	388	4,498

3. 派遣内容別件数（延件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均件数
総合事業相当型	229	247	238	262	271	271	273	251	227	228	248	248	249
身体介護	6	5	4	4	5	2	9	12	12	13	10	8	8
生活援助	53	54	47	55	49	46	50	46	38	45	46	46	48
身体生活	81	75	60	70	59	60	76	79	79	73	86	91	74
合計	369	381	349	391	384	379	408	388	356	359	390	393	379

4. 研修・会議等の実施

・月1回の定例スタッフミーティング、研修等実施状況

	内部研修	主な外部研修
4月	今年度の研修について	ほのぼの介護システムの理解と実施方法
5月	ボディメカニクスを使った介護技術③	コンプライアンス及び個人情報保護について
6月	介護現場におけるコミュニケーション①	己を知り・相手を知る（自己覚知について）
7月	介護現場におけるコミュニケーション②	身体拘束・虐待・行動制限について
8月	介護現場におけるコミュニケーション③	心理的安全性の構築～組織の成長と人材定着のために～
9月	介護記録の目的とルール	認知症の人から見た地域と制度
10月	ケース記録の書き方	利用者様、患者様、ご家族、保護者の方に対する接遇・マナーについて
11月	ICT活用の重要性	災害による被害の実際
12月	現場で導入が求められるICT機器	感染症について
1月	情報セキュリティ	冬道運転とベテランドライバー（慣れ、過信）
2月	介護現場のカスタマーハラスメント	権利擁護について
3月	1年間を振り返る	事故防止について

・自己研鑽のための研修参加 : 特養内部研修参加

5. 数値目標

(目標)利用者実績の平均人数 83人 → (実績) 87人 = 達成
 利用者実績月間総合計 380件 → (実績) 379人 = 未達成

6. 固定資産取得状況等

新規取得はなし

13. 慈啓会介護総合相談センター 2024(R6)

(1)ケアプラン作成者件数

年間平均
122.2人 (令和7年3月末日現在)

(2)契約者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者	5	4	0	0	0	2	3	6	3	8	10	5	46
解約者	2	2	0	1	2	0	1	2	2	1	1	1	15
内 訳	死亡	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	4
	入院	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	入所	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	5
	転居	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	変更	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	包括移行	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	小規模多機能 その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
契約者合計	251	253	253	252	250	252	254	258	259	266	275	279	

(3)ケアプラン作成者 (利用票・提供票作成者)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	84	88	83	80	76	61	59	55	54	59	65	67	831
要介護 2	30	30	30	33	31	31	34	34	37	38	40	40	408
要介護 3	15	14	13	12	11	9	7	8	9	6	12	9	125
要介護 4	7	6	6	6	7	7	6	7	11	9	7	10	89
要介護 5	2	2	3	2	2	0			1			1	13
合 計	138	140	135	133	127	108	106	104	112	112	124	127	1,466
月平均	122.2												

(4)要介護認定申請代行

新規申請	更新申請
0	52

(5)相談経路

電話(夜間・祝日)	来 所	訪 問	合 計
911 (61)	13	1,696	2,620

(6)活動状況

①情報伝達会議

会議	43
----	----

②サービス担当者会議

	162
--	-----

(7)固定資産取得状況
新規取得はなし

14. 介護予防センター旭ヶ丘

2024(R6)

(1) 総合相談支援業務

【総合相談】

① 相談件数

電話	訪問	面談	その他	計
29	0	0	1	30

② 相談内容(重複あり)

介護保険制度	介護予防	保険福祉サービス	高齢者虐待	消費者被害	権利擁護	認知症	心身の健康	家族の疾病
2	26	0	0	0	0	0	1	0

医療	住まい	その他
0	0	1

③ 相談結果

継続支援へ	介護予防教室参加	地域介護予防活動参加	介護保険申請	包括紹介	関係機関紹介	終結
0	13	3	0	4	0	10

【地域ケア体制の構築】

地区地域ケア会議(運営主体)	1回
区地域ケア推進会議(運営主体)	2回
地区連絡会議(運営主体)	12回
区連絡会議(運営主体)	10回
専門職との連携	5回
医療機関との連携	4回
地区組織との連携	25回
その他関係機関との連携(中央区介護予防C連絡会含む)	19回
生活コーディネーターとの連携	0回

(2) 介護予防普及啓発業務

① 事業別実施件数

介護予防教室	研修会	相談会	広報物の発行	文書や通信での支援	計	参加者延数
95	2	0	7	0	104	3213

(3) 地域介護予防活動支援業務

① 介護予防に資する地域活動組織の育成及び支援

民児協	福まち	町内会組織	老人クラブ	サロン	自主グループ	その他	計	参加者延数
0	1	2	19	0	118	2	142	2064

(4) 自主活動化支援事業

開催回数	参加者数	内容
3	9	サポーター養成講座

(5) 専門職と連携した介護予防機能強化業務

新規立ち上げ支援箇所数	既存団体支援箇所数
1	9

(6) 数値目標

(目標) 委託契約書に記載の事業実施回数目安の達成

- ① 介護予防教室/地域活動組織の育成及び支援 (目標) 70回 → (実績) 237回 = 達成
- ② 自主活動化支援事業 (目標) 3回 → (実績) 3回 = 達成
- ③ 地区地域ケア会議 (目標) 1回 → (実績) 1回 = 達成
- ④ 専門職との連携 (目標) 必要時 → (実績) 14回 = 達成

(6) その他

- ・研修会 市内介護予防センターとの学習会5回 専門職との研修会 (リハ2回 栄養1回 口腔1回)
- 福祉推進委員・町内会役員研修 1回

15. 札幌市稲寿園 特別養護老人ホーム(定員100名) 2024(R6)

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者		介護度 (年度末現在)	
		最低	73	最高	90	平均	82.8	入所	退所	慈啓会	その他	男	女
男	12							8	9	8	14	3.77	
女	88	最低	68	最高	101	平均	88.5	27	26	23	33	4.25	
計	100					平均	87.8	35	35	31	47	4.09	

・平均稼働率 94.9% (R5年度 95.1%)

【説 令和6年度の平均稼働は、94.9%の稼働(前年よりも-0.2%)で、目標に対して2.1%下回った。年度通じてクラスターの発生はなかったが、特に2月に掛け、平均9.6人/日と爆発的に入院者が増えてしまい、2月は89.9%の稼働率と大きく影響を及ぼした。5、9月は目標値の稼働率97%を上回ることができたが、下半期の平均稼働率は94%と振るわず、年度末は入院者が落ち着き平均3.5人/日、稼働96.4%と回復を見せたが、目標値に到達することは難しかった。

(2) 防災訓練実施状況

- 10月28日(防災訓練・夜間想定、地震災害)、3月29日(自衛消防訓練、水害災害)

(3) 行事・クラブの実施状況

○全体行事

7/24・7/26夏祭り、9/13敬老行事、9/16手稲神社例大祭、10/11・11/11さわらび幼稚園(慰問)、10/23不在者投票、12/23クリスマス、12/26もちつき、1/8獅子舞・おみくじのみ、2/3節分、2/7さわらび幼稚園(慰問)、3/3ひな祭りを開催。

○ユニット行事

- ・お茶会(ハロウィン)ホール全体に季節感とハロウインの飾り付けを行い、入居者様に季節を感じて頂きながらスイーツを楽しんで頂いた。
- ・誕生日会 誕生日にケーキ(嚙下状態によりプリン等食べやすいもの)を提供し職員でお祝いして写真を撮った。

(4) 給食の実施状況

コロナ感染対応を含む日々の食事提供は、他セクションとの連携のもと、臨機応変な対応を行うことができた。インシデント・アクシデント報告が過去最多となり、今後の課題となっているが、禁食の確認・指示書きなど業務量を増やして対策を行っている。食材高騰の影響により給食の質は低下しているが、事前献立の確認・訂正や日総菜養士による新メニューの提供により、現場や利用者よりクレーム等の報告は少ない状況である。

(5) 保健衛生

- ・入所者様の体調不良・変化を早期に捉え、出来る限り入院の経過に至らないよう、往診医・協力医療機関と連携をはかっていく。
- ・日常的な感染予防の継続。また感染症流行時期・発熱・嘔吐時など必要状況に合わせて、居室・ユニット内で感染対策強化を行う。特にクラスター時は、臨時的感染委員会の開催と、他部署間での情報共有を行い、感染を広げないよう最小限にとどめられるよう努めていく。
- ・ワクチン定期接種・健康診断の施行

(6) 機能訓練

入居者様の基礎疾患や不可逆的な変化からADL変化のケースはあったが、介護職員の努力により入居者様のADLを維持されているケースも多い。引き続き、入居者様の残存能力を活かし、ADLを維持できるように努める。また、入居者様の尊厳を保持し、個別性を大切にすることで、より質の高い生活が送れるよう、他部署とのより一層の連携を図る。

(7) 職員研修実施状況

令和6年 R6/5月23日メンタルヘルス研修、6月1日感染対策向上研修、6月20日食中毒研修、6月27日虐待研修、7月24日組織論研修、8月5日事故防止・身体拘束・虐待研修、8月29日認知症研修、9月26日接遇研修、9月30日BCP研修、10月28日感染症研修、11月21日安全研修、12月23日、権利擁護研修、令和7年1月23日事故防止研修、2月12日褥瘡研修、2月17日コンプライアンス研修、3月4日身体拘束・高齢者虐待研修、3月25日介護事故防止のためのリスクマネジメント研修

(8) 委員会等の開催

- ・各部署会議: 毎日のミーティング、情報共有会議
- ・各委員会: 行事・給食委員会、衛生・感染対策防止委員会、身体拘束廃止・虐待防止・事故防止委員会、自立支援・重度化予防対策(接遇・活動、入浴、排せつ、食事・口腔ケア)委員会、入所検討委員会
- ・カンファレンス: 定期開催、臨時開催(都度)

○定期開催委員会(毎月・隔月)

情報共有会議(1回/月)、各委員会(1回/月)、カンファレンス(プラン更新時、不定期開催は随時)
※コロナ感染発生者がいた場合には書面開催にて実施

(9) 固定資産取得状況等

- ・固定資産取得・・・ICT事業(aamsマット、カメラ、パソコン、ソフトウェア、WiFi工事、LAN工事等)、業務用冷蔵庫、AED、ガスストーブ等
- ・修繕・・・廊下照明器具交換、入浴ストレッチャー修理、排気モーター修理、配膳車冷却ユニット交換、厨房カラン交換等

(10) 事故発生状況

転倒、転落: 59件、皮膚変色、出血: 15件、誤薬: 3件、異食: 2件、誤嚥: 0件、他: 5件 合計: 84件

(11) 苦情の状況等

今年度は1件あり。

(12) その他

- ①ボランティア 個人: 裁縫、見守り、お茶出し、湯飲み洗い、タオルセット、洗濯たたみ、麻雀
団体: ウクレレ(3名)、ウクレレ・太鼓・ギター・歌(10名)、電子ピアノ・オカリナ・コーラス(5名)、歌・ギター(5名)

- ②交流 さわらび幼稚園訪問交流

- ③実習・体験学習 特養・デイサービス せいとく介護こども福祉専門学校1名

(13) 数値目標

(目標)稼働率 (目標)稼働率 97.0%、→ (実績)稼働率 94.9%

= 稼働率 - 2.1% 未達成

16. 稲寿園短期入所生活介護事業所(定員10名) 2024(R6)

(1) 利用状況等

	利用 総人数	利用 総日数	平均 利用日数	利用者介護度								送迎 回数	食事数		
				支1	支2	1	2	3	4	5	計		朝食	昼食	夕食
男	68	339	4.99	0	0	35	4	15	4	10	68	456	2,712	2,951	2,718
女	194	2,634	13.58	1	1	47	29	50	46	20	194				
計	262	2,973	11.35	1	1	82	33	65	50	30	262				

・月平均稼働率 81.5% (R5年度 75.1%)

【説明】 令和6年度は、クラスターもなく経過したことで、稼働率は安定し、6月のみ稼働目標の75%に満たない状況であり、9か月間は80%以上の稼働を達成し、最高稼働値は11月の87%であった。年間の平均稼働率は81.5%と目標値(75%)を6.5%と大幅に上回ることができた。
 ロングショートを受け入れ(6件の受け入れを実施)や、利用予定日を3ヶ月以上先まで計画的に入れ、事前にCMへ打診する方法や空床についてのアナウンスをこまめに続けることで、隙間のない居室運用を行うことで稼働率は前年よりも向上したと考えられる。

- (2) 防災訓練実施状況
 - (3) 行事・クラブの実施状況
 - (4) 給食の実施状況
 - (5) 保健衛生
 - (6) 職員研修実施状況
- } 特養と同内容のため省略

(7) 固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)
 ICT事業(aamsマット、カメラ、パソコン、ソフトウェア、WiFi工事、LAN工事等)

(8) 事故発生状況
 転倒・転落 9件、アザ・出血1件、誤薬1件、異食0件、誤嚥・誤飲0件 計11件
 札幌市報告件数:2件

(9) 苦情の状況等
 0件

(10) その他 特養と同内容のため省略

(11) 数値目標
 (目標) 稼働率 75% → (実績) 81.5%
 = 6.50% 達成

17. 稲寿園デイサービスセンター(定員32名) 2024(R6)

(1) 利用状況等

	登録数	実利用数	介護	予防	新規	廃止
年間延べ		1,201	872	329	45	41
月平均	107	100.0	72.7	27.4	3.8	3.4

・月平均稼働率 82.2% (R5年度 81.1%)

【説明】 今年度の平均稼働率は82.2%で昨年度に続き目標を達成することができた。昨年同様、毎月の営業と満足度の高い行事を継続することで、利用者・家族・CMからの信頼を獲得することができた。また、デイサービス共通目標としていた、「利用者の自己選択、自己決定を尊重し、その権利、個人の尊厳を考慮したケアを提供する」についても、多様なレクリエーションを行うことで、自己選択自己決定の機会を定期的に作るすることができた。

- (2) サービス質と稼働率の向上 …… アンケート結果より、総合満足度88%が満足・大変満足との返答。入浴、食事などの行事に加え、新たに選択レクリエーションを導入したことで、自己選択自己決定の機会を定期的に作ることができ、利用者からは満足の声が多く聞かれていた。職員一人一人が満足度を高めるサービスを意識し、居宅への営業も継続して取り組んだ結果、今年度稼働平均82.22%と年度目標を達成することができた。
- (3) 防災訓練実施状況 …… 特養と同内容のため省略
- (4) 職員研修実施状況 …… 特養と同内容のため省略
- (5) 主要行事 …… 年間行事：
4月買い物、5月お花見、6月夏祭り、7月スイカ割り、8月茶話会、9月敬老会、2月節分、3月ひな祭り
各月レクリエーション：
誕生会(毎月)、手工芸レク、お風呂週間、ゲーム大会、その他スタッフの企画レクリエーション
- (6) 固定資産取得状況等(大規模修繕を含む)
ICT事業(パソコン、ソフトウェア等)、イス
- (7) 苦情の状況等
1件(令和7年3月28日受付:利用者家族から、職員の対応に対しての苦情を受けつける。)
- (8) 数値目標
(目標) 稼働率 80.0%(25.6人) → (実績) 82.2%

18. 稲寿園訪問介護

2024(R6)

(1) 月別派遣状況等(前年度比較)

【説明】

派遣回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	527	551	488	532	474	431	467	417	377	390	382	439	5,475
令和5年度	425	481	498	505	534	475	524	554	513	478	490	499	5,974
増減	102	71	(10)	27	(60)	(44)	(57)	(137)	(136)	(88)	(108)	(60)	(499)

派遣時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	296	322	302	322	324	289	386	242	211	209	201	241	3346
令和5年度	269	287	271	286	312	264	344	272	285	281	287	304	3462
増減	27	35	32	36	12	25	42	(30)	(74)	(72)	(85)	(63)	(117)

(2) 介護度別利用者状況

令和6年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援	1	6	8	9	9	7	8	8	8	8	11	12	12	106
	2	32	34	30	29	27	28	30	29	30	30	31	32	362
要支援計		38	42	39	38	34	36	38	37	38	41	43	44	468
要介護	1	30	33	29	29	28	29	24	24	23	24	22	25	320
	2	6	6	4	9	7	7	8	7	7	5	5	7	78
	3	2	3	4	4	3	3	3	3	3	3	2	3	36
	4	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	14
	5	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	7
要介護計		40	44	39	44	40	41	37	36	34	34	30	36	455
合計		74	86	78	82	74	77	75	73	72	75	73	80	919

(3) 職員研修・カンファレンス状況

- ① 定期研修 : 毎月1回実施
- ② カンファレンス : 毎月1回実施
- ③ 個別研修 : 年間を通して1回以上

(4) 数値目標

月の目標派遣回数 450回以上、月の登録件数70件 →(実績)派遣回数 456回、登録件数 77件

19. 稲寿園介護総合相談センター 2024(R6)

(1) 相談対応方法

【説明】 令和6年7月に人事異動あり。10月1日より新規職員1名採用、10月末に職員1名が退職。

(単位:人)

令和 06 年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内訳	訪問	181	197	195	192	197	193	178	184	190	176	162	191	2,236
	来所	1	7	4	3	3	0	3	0	1	1	1	1	25
	電話	156	149	113	130	121	105	136	110	95	153	115	117	1,500
合計		338	353	312	325	321	298	317	294	286	330	278	309	3,761

(2) 契約者推移

【説明】 令和5年度に引き続き、令和6年度も死亡・長期入院・入所の廃止理由が多い。退職者の担当継続希望により、10月事業所変更5名。

(単位:人)

令和 06 年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規契約者		4	0	9	0	3	3	4	6	5	2	6	7	49
解約者		7	3	0	3	4	6	8	4	6	7	4	1	53
内訳	死亡	2	2	0	1	0	1	0	0	1	4	0	0	11
	長期入院	3	0	0	1	0	2	0	1	3	0	1	1	12
	入所	2	0	0	1	4	3	2	1	0	2	3	0	18
	転居	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
	事業所変更	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	6
	包括移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小規模多機能	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
契約者合計		200	197	206	203	202	199	195	197	196	191	193	199	

(3) 相談経緯・件数

【説明】 相談件数が令和5年度より増加。手稲第2からの相談件数が令和5年度24件に対し、令和6年度は40件と1.7倍に増加。

(単位:人)

令和 06 年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手稲区第1包括		0	1	0	2	0	1	1	0	0	0	1	3	9
手稲区第2包括		3	2	1	2	3	4	7	5	4	2	5	2	40
中央区第2包括		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中央区第3包括		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本人・家族		1	2	0	3	3	2	1	3	2	1	1	3	22
病院		3	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	7
他事業所		1	2	7	1	0	3	1	0	2	2	0	1	20
合計		8	7	8	8	6	11	10	8	10	5	7	10	98

(4) 月別利用者数

【説明】管理者を含めて居宅経験年数の浅い職員体制となったこともあり、新規利用相談のうち、担当できなかった要介護件数が12件、要支援件数が15件あった。

(単位:人)

		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	R06年度	7	7	7	8	7	7	8	8	9	9	8	8	8	93
	R05年度	8	7	7	8	7	6	6	8	7	8	7	7	7	86
要支援2	R06年度	12	12	13	12	13	14	13	15	15	16	16	16	16	167
	R05年度	13	16	16	14	14	15	14	14	13	12	15	14	14	170
要介護1	R06年度	70	72	75	77	76	75	73	71	72	70	72	73	73	876
	R05年度	76	73	73	78	79	75	72	70	70	72	71	72	72	881
要介護2	R06年度	41	39	42	42	41	35	33	31	31	28	25	25	25	413
	R05年度	39	39	41	41	43	42	44	45	43	41	40	40	40	498
要介護3	R06年度	14	15	15	15	15	15	19	17	15	14	13	14	14	181
	R05年度	19	21	22	22	23	23	23	21	18	15	14	14	14	235
要介護4	R06年度	5	4	2	2	3	4	5	6	8	8	6	6	6	59
	R05年度	7	6	4	4	3	3	1	1	1	2	3	4	39	
要介護5	R06年度	5	5	5	6	4	3	3	3	3	3	3	4	4	47
	R05年度	3	3	3	3	5	6	6	5	5	5	5	5	5	54
合計	R06年度	154	154	159	162	159	153	154	151	153	148	143	146	146	1,836
	R05年度	165	165	166	170	174	170	166	164	157	155	155	156	156	1,963

(5) 研修会等出席状況

他法人主催の研修に参加、下半期は市主催の研修や他法人との研修会、包括の事例検討会に参加予定。

(6) その他

令和06年度特定事業所集中減算は前期後期指摘事項、減算なし。10/1、札幌市運営指導、文書指導・口頭指導なし。

20. 軽費老人ホームA型札幌市菊寿園（定員50名） 2024(R6)

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者		
		最低		最高		平均	入所	退所	慈啓会	その他		
男	12	最低	69	最高	90	平均	80.1	5	3	1	2	
女	22	最低	72	最高	96	平均	82.4	5	7	2	5	
計	34						平均	81.6	10	10	3	7

・平均在籍者数 33.4名 66.8% 平均介護度 0.98（参考：令和5年度 0.98）

(2) 防災訓練実施状況

- ① 7月11日(夜間想定三者合同訓練) ②10月4日(日中想定三者合同訓練)
- ③ 3月26日(動画視聴による研修)

(3) 行事・クラブの実施状況

- ① 定 例：ラジオ体操(午前・午後各1回)、介護予防体操(週1回)、脳トレクラブ(週1回)、すこやか倶楽部(月1回)
- ② 季節行事：5月買物ツアー、6月外出レク(観光)・すき焼きの日(個別)、7月夏祭り、9月敬老会・開園記念食(個別)
10月外出レク(食事)、12月クリスマス会・忘年会、1月新年会・初詣ツアー、2月節分豆まき・鍋の日

(4) 給食の実施状況

給食時間 朝 7:30～ 昼 12:00～ 夜 17:30～

- ① ごちそうの日、セレクト食、秋・春のバイキング等の実施
- ② ADL低下者に配慮した思いやり対応(時間前の誘導、配下膳の一部介助等)
- ③ 嗜好調査の実施

(5) 保健衛生

- ① 嘱託医による定期診察、定期処方及び臨時処方による治療の他、日常の入居者からの健康相談対応
- ② 新型コロナウイルス陽性者のクラスター発生による職員への感染対応指示及び陽性者の健康観察
- ③ 施設内感染防止対策として、手洗い・うがい励行の啓発、環境の保清化、次亜塩素酸による各居室ドアノブ・手すり等の消毒、手指消毒液を玄関・食堂前に設置、適切な手洗いについて職員・利用者に説明会を実施。
- ④ インフルエンザ予防接種を積極的に行い、うがい・手洗い等で冬期間の風邪予防。
- ⑤ 月1回の血圧測定、2ヶ月に1回体重測定、年2回健康診断を行い健康保持。
- ⑥ 薬の自己管理が難しい場合、カレンダー薬や配薬で対応。

(6) 職員研修実施状況

北海道ブロック初任者研修(全軽協)、北海道ブロック研究大会(全軽協)、生活相談員研究会総会・研修会(市老施協)
 養護・軽費老人ホーム職員交流研修会(市老施協)、生活相談員研究会(市老施協)、軽費・ケアハウス研修会(道老施協)
 社会福祉法人会計基準実践的基礎講習(全国老施協)、感染症対策研修会(道老施協)、救命救急講習会(札幌防火委管理者協会)
 特定給食施設等研修会(市保健福祉局)、地域共生セミナー(札幌矯正管区・道社福事業団)
 身体拘束・虐待・行動制限研修(法人研修)、認知症研修(法人研修)、感染症研修(法人研修)、BCP研修(法人研修)
 権利擁護研修(法人研修)、事故の防止について(法人研修)、コンプライアンス研修(法人研修)

(7) 固定資産取得状況等

エアコン3台、デスクトップパソコン2台

(8) 修繕・大規模改修等

居室クロス・畳張替・床板撤去ベニヤ貼り、居室他ドア修繕、3階給湯室蛇口取替、パネルヒーターサーモヘッド修繕
 厨房シングルレバー混合栓取替修繕、1階便所ウォシュレット取替工事、2階厨房流し台修繕
 2階洗面所掃除用流し排水詰まり修繕、2階EV横掲示板設置工事、各室上框修繕

(9) その他

- ① アンケートによる満足度調査の実施
- ② 車椅子無料貸出し(13件)・会議スペース無料貸出し(3件)

2.1. 拓寿園軽費老人ホーム（定員50名） 2024(R6)

(1) 利用状況等

	在籍者数 (年度末現在)	年 齢 (年度末現在)						年度内入退所		年度内入院者	
		最低		最高		平均		入所	退所	慈啓会	その他
男	4	最低	67	最高	81	平均	75	1	1	0	1
女	27	最低	69	最高	93	平均	81.7	4	2	0	10
計	31					平均	80.9	5	3	0	11

・平均稼働率 60.2%(毎月1日現在在籍数)

(2) 防火訓練実施状況

- 2回実施予定のうち、9月・3月に実施。9月は夜間想定・3月は日中を想定して実施。どちらも入院者を除いて全員の出席で実施した。

(3) 行事・クラブの実施状況

- 季節行事として 夏季（かき氷配布）クリスマス（プレゼント）・豆まき（豆の配布）・ひなまつり（桜餅等の配布）を実施し、集合形態ではない方法にて季節感を出した

・その他

介護予防教室（隔週）、ふまねっと運動（隔週）の実施
 買い物ツアー（月2回、最寄りのスーパーまで）
 （そのほか、屯田地区ふれあい福祉週間輪投げ大会、日赤奉仕団園内清掃、
 有朋高校生との交流会・夏祭りボランティア受入れ、屯田北児童会館の児童との交流会、
 他施設とのゲートボール・カラオケ交流会、
 映画鑑賞会、健康歩こう会は感染予防のため中止）

(4) 給食の実施状況

- なし

(5) 保健衛生

- 10月と3月の年2回、協力医（ふるや内科）で健康診断を実施した。
- 新型コロナワクチンの接種は、協力医又はかかりつけ医にて実施した。
- 要介護要支援認定者等に対して、担当ケアマネジャー及び各福祉医療機関との連携に努めた。
- インフルエンザ予防接種は、10月から11月にかけて、協力医又はかかりつけ医にて実施した。
- 新型コロナウイルスや食中毒等の感染症予防のため、掲示物や書面配布等で啓発し注意喚起した。

(6) 職員研修実施状況

- 法人職員研修会等に参加

(7) 固定資産取得・処分状況

- なし

(8) 大規模修繕・改修

- 該当なし

(9) その他

- 入居者アンケートによる満足度調査の実施：2月
- 床ワックス清掃の実施（年2回）
- 排水管清掃の実施（年2回）
- 害虫点検（年2回）
- 消防設備点検（年2回）
- 感染予防対策として、外出から帰園後に玄関にてマスク交換を行っている。
- 窓ガラス清掃実施：9月

22. 慈啓会老人保健施設(入所定員 90名、通所定員 40名) 2024(R6)

(1) 利用状況等

【施設サービス】

在籍者数 (年度末現在)	年齢(年度末現在)			年度内入退所者		年度内入院者		平均介護度 (年度末現在)	
	最低	最高	平均	入所	退所	慈啓会	その他	男	女
男	15	74	96	83.8	31	35	11	11	3.47
女	67	72	100	88.1	91	91	21	23	2.89
計	82				122	126	32	34	3.00

【短期入所療養介護】

在籍者数 (年度末現在)	年齢(年度内)		利用日数	
	最低	最高	利用人数	利用日数
男	0	47	99	866
女	3	69	104	5.59
計	3			

【通所リハビリテーション】

年齢(年度末現在)	最低	最高	介護度別 利用回数	月												計
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
			支援1	24	28	21	22	18	20	27	22	18	23	26	29	278
男	62	97	支援2	125	141	118	138	133	128	134	122	94	98	102	104	1,437
女	66	103	介護1	124	135	136	172	157	144	139	123	109	121	134	157	1,651
			介護2	122	142	106	119	112	104	118	95	97	108	110	112	1,345
			介護3	69	68	54	51	46	55	62	44	23	29	43	37	581
男	330	2,357	介護4	20	19	19	24	21	21	21	29	22	25	27	44	292
女	512	3,421	介護5	15	19	14	16	16	15	18	17	16	15	16	17	194
計	842	5,778	計	499	552	468	542	503	487	519	452	379	419	458	500	5,778

(2) 防災訓練実施状況

- ①令和6年12月24日(旭ヶ丘地区合同防災訓練:老健)
- ②令和7年3月17日(避難訓練)

(3) 年間行事・交流会・趣味活動の実施状況

【行事・交流会】誕生会、花壇作り、敬老会、夏祭り、スイカ割、秋祭り、クリスマス会、新年会、豆まき、雛祭り他
 【趣味活動】折り紙、はり絵、クイズ、手遊び、体操、ボール遊び、計算、塗り絵、風船バレー、脳トレ、他

(4) 委員会及び会議

- ①ケアの質向9回 ②食事11回 ③感染予防12回 ④研修11回 ⑤安全推進10回 ⑥身体拘束4回 ⑧褥瘡予防4回
- ⑧ケアプラン検討0回 ⑨苦情処理0回 ⑩衛生会議11回 ⑪虐待予防4回 ⑫経口維持11回 ⑬行事10回 ⑭フロア会議6回
- ⑮運営委員会11回 ⑯管理者会議11回 ⑰サービス担会24回 ⑱ICT委員会5回 ※臨時感染症対策委員会12回

(5) 給食の実施状況

給食時間 朝 8:00 昼 12:00 夕 18:00

- ・保温食器の導入等による適温適時給食の実施
- ・特別食(治療食)の対応
- ・行事食では季節感、食材のバリエーション等、食事による利用者の精神的活性化
- ・個々の身体状況を考慮した食形態や栄養補助食品の工夫等
- ・ミールラウンドの実施

(6) 保健衛生

- ・毎食後の口腔ケアを継続・定時の換気の実施
- ・新規入所時や感染症の疑いのある時は個室隔離等の感染対応を行ない、感染と拡大の防止に努めた
- ・手洗いの励行(手洗い困難な利用者はアルコールウェットタオル使用)、手すり(2回/日)・テーブル(3回/日)の消毒
- ・コロナワクチン接種、インフルエンザ予防接種の実施
- ・気温・湿度の管理をしっかり行い、感冒等の流行の兆しが認められた時は早期対応を行い、罹患者を最小限に抑えた
- ・入所者発熱時は抗原検査実施 有症時は休務で対応

(7) 職員研修実施状況

【施設外研修】

介護・口腔ケアセミナー(1名)、高齢者ケア施設の看護管理者交流会(1名)、救急法セミナー(1名)
 看護管理者懇談会(1名)、札幌第2支部教育研修会(2名)、2024年度臨地実習指導者研修会(2名)他

【施設内研修】

感染症研修(2回)、虐待研修(2回)、権利擁護(1回)、安全・リスク管理研修(2回)、コンプライアンス研修(1回)
 メンタルヘルス研修(1回)、認知症研修(1回)、BCP研修(2回)、接遇研修(1回)、身体拘束(1回)
 高齢者理解(2回)、組織研修(1回)、安全運転講習(1回)

(8) 事故発生状況及びゼロレポート

事故報告 : 217件(転倒 53件、外傷 9件、誤薬 13件、異食 3件、離棟 10件 他129件 内骨折事故 1件)
 ゼロレポート : 162件

(9) 苦情の状況等

計 1件

23. 慈啓会病院

2024(R6)

I. 基本方針

法人理念及び当院の理念に沿い、患者の立場で考える患者中心の病院をめざす。また、職員がお互いを尊重し楽しく働くことのできる病院をめざす。それらによって経営の安定化を図ることをめざす。

II. 重点目標

診療報酬改定により療養病棟の診療報酬が著しく減少することを受け、病棟再編委員会を立ち上げ検討を行った。介護医療院への移行等複数の案の中から、「障害者病棟」へ転換することとし、看護基準などをクリアすべく調整を行い、2025年2月より新しい基準にて病棟運用を実施した。これにより月450万円程の増収となった。

1. 病院経営について

- (1) 外来収入は、内科・精神外来ともに予算達成とはならなかった。患者数の減少が継続している。予防接種については新型コロナワクチン接種を積極的に実施し、対予算6,000千円程のプラスとなった。施設外来は予算達成している。入院収入は、上半期稼働を維持して、何とか予算達成していたものの、9月10月と紹介患者の減少により大きくマイナスとなった。11月から12月にかけて稼働は持ち直したものの、1月に内科全病棟のクラスターが発生し入院制限継続により一部病棟の稼働が落ち、収入が減少した。入院全体では対予算18,945千円のプラスとなっているが、新型コロナ治療薬による薬剤収入の増加によるもので、実質は対予算17,000千円程のマイナスとなった。
- (2) 支出は、人件費については看護スタッフの補充をある程度実施できたが、充足には至っていない。事業費については、新型コロナ治療のため薬剤費が大幅に増加した。事務費については、医師や看護師の紹介手数料が対予算15,000千円増と昨年度よりは減少しているものの、大きなプラス要因となっている。
- (3) 収支については、経常増減差額で対予算▲32,460千円の44,194千円となった。

2. 収支状況について

(1) 外来診療費収入(科別)

種別	2024年度予算		2024年度実績		予実差	
	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)
内科外来	4,440	31,968	4,030	26,715	▲ 410	▲ 5,253
精神科外来	480	2,400	314	1,718	▲ 166	▲ 682
健診・ドック	3,232	21,120	2,763	19,573	▲ 469	▲ 1,547
予防接種	1,728	336	2,024	6,107	296	5,771
施設外来	17,760	45,192	19,126	55,896	1,366	10,704
その他	1,560	5,148	1,721	5,772	161	624
合計	29,200	106,164	29,978	115,782	778	9,618

(2) 入院収入(病棟別)

病棟	2024年度予算		2024年度実績		予実差	
	稼働(床)	金額(千円)	稼働(床)	金額(千円)	稼働(床)	金額(千円)
2F	42.8	408,063	42.8	434,916	0.0	26,853
3F	32.5	389,842	33.4	397,719	0.9	7,877
4西	42.0	332,610	40.9	327,597	▲ 1.1	▲ 5,013
4東	41.3	283,385	37.0	261,906	▲ 4.3	▲ 21,479
5F	49.0	300,723	48.1	312,371	▲ 0.9	11,647
過誤査定	--	▲ 480	--	▲ 1,420	--	▲ 940
合計	207.6	1,714,143	202.2	1,733,088	▲ 5.4	18,945

3. 患者サービス等について

- (1) コロナ対応で平日予約制としていた患者面会を2024年5月より予約なしとした。11月より土日祝の面会を開始した。
- (2) 入院病棟では、コロナクラスター発生時入退院停止としていたが、稼働低下を防ぎ収入を確保するため、BCPを見直し、徹底した病室管理のもと、入退院を継続することとした。

4. 人材の確保、育成および組織づくり

- (1) 看護部を中心にコミュニケーション研修を実施した。
- (2) E-ラーニングを導入し、職員一人一人の環境に合わせた研修が行えるように体制を構築した。
- (3) 外国人技能実習生の受入れ検討を進め、2024年6月にベトナム人実習生2名を受け入れた。また、特定技能外国人の受け入れも進め、2025年2月にインドネシアから2名の受け入れを行った。さらに2025年6月に2名の受け入れ予定である。

24. 認定こども園啓明ともいき保育園 2024 (R6)

(1) 在籍状況(2.3号児90名定員)(1号児9名定員)

	在籍数	所率 (%)	0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳児以上	1号児
4月	88名	88.8	2名	28名	19名	36名	3名
5月	90名	90.9	3名	29名	19名	36名	3名
6月	91名	91.9	4名	27名	19名	36名	5名
7月	93名	93.3	4名	28名	19名	39名	6名
8月	93名	93.3	4名	28名	19名	36名	6名
9月	93名	93.3	4名	28名	19名	36名	6名
10月	96名	96.9	4名	30名	19名	36名	7名
11月	96名	96.9	4名	29名	19名	36名	8名
12月	98名	98.9	6名	29名	19名	36名	8名
1月	98名	98.9	6名	29名	19名	36名	8名
2月	98名	98.9	6名	29名	19名	36名	8名
3月	98名	98.9	7名	29名	19名	36名	7名

(2) 防災訓練実施状況

- 避難訓練：通報、消火訓練毎月実施、地震(震度5)洪水時の保護者連絡を含む、不審者屋上園庭より侵入実施
- 総合避難訓練は第1避難場所への避難他 1,2,3月は予告なし、冬場停電、土曜体制、園長不在体制実施

(3) 行事の実施状況

- 感染対策を継続しながら、実施

【定例行事】

- 入園お祝い会、誕生会、季節ごとのお楽しみ会(七夕すいか割り)、園医健診、歯科健診

【季節行事】

- 春の遠足(弁当園外)、お祭りごっこ(公園神輿担ぎ)、運動会、バス遠足、生活発表会、クリスマスお楽しみ会(バイキング)
新年お楽しみ会、節分、おみせやさんごっこ、お別れ会(バイキング)、卒園式

【その他】

- 保護者出席の個人懇談、参観日実施、観劇(影絵等)交通安全教室は連携保育園と一緒に楽し、
- 慈啓会特養交流は感染予防をし4、5歳児と神輿発表、敬老の日(土曜日)お祝いの劇発表交流、4歳児きずなデイ交流
- 年長児(5歳児)の園外活動は、藻岩山ロープウェイ登山、防災センター、AOAO水族館、公共交通機関を利用し実施

(4) 給食の実施状況

- 札幌市の献立を基に園児に提供、アレルギー児は医師の診断を得てアレルギー食提供、卵、小麦、胡麻、乳、鯖
- 給食便り発行。子ども達に人気のあるもの、季節の食材によるメニューの紹介
- 子ども達が意欲的に食に関われるよう、プランターで野菜を育てる(各年齢)、食育は手洗い、スプーン、箸の持ち方、野菜クイズ(とうきびの皮むき等)、年長はだし、三食食品群、クッキング(バター作り、パ

(5) 事故発生状況

- 切り傷、打撲、歯の脱臼、歯の脱臼、眼球に傷、鼻の中に米粒混入

(6) 保健衛生

- コロナ陽性は職員12,1,2月9名、子ども6,12,2月4名罹患
- インフルエンザAは12月園児8名罹患
- 糖尿1型園児5歳児1名インスリン注射は親、園では補食、糖管理、2月から就学に向けてインスリンの見守りを行う。

(7) 職員研修実施状況

- キャリアアップ研修(保健衛生、食育、保護者支援 幼児乳児保育)オンライン、対面受講、幼保小連携研修
- 札幌市幼児教育出張研修(夢中になって遊ぶ環境)、札幌市誤嚥事故予防研修、心肺蘇生法、AED使用、子どもの事故他
- 栄養士研修(母子保健、運動と肥満、食中毒)、園内研修(上記出張研修、保育現場のなぞルール)

25. 中央区第2地域包括支援センター・中央区第2介護予防支援事業所 2024(R6)

○中央区第2地域包括支援センター

(1) 相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	75	82	103	87	93	89	92	71	65	86	68	65	976

(2) 給付管理提出数(実利用人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規利用数	36	20	20	13	24	28	24	21	23	20	17	26	272
継続利用数	793	831	817	833	805	785	811	820	811	804	810	818	9,738
合計	829	851	837	846	829	813	835	841	834	824	827	844	10,010

(3) オレンジ活動報告

	実施回数	実人数	延人数
ステップアップ講座	3	75	75
スマイルオレンジチームの運営	52	205	273
個別のマッチング	6	10	19
様々な形での立ち上げ支援	2	10	10
認知症サポーター等への活動意向確認	1	1	1
合計	64	301	378

(4) 地域住民・関係機関等への情報提供活動

	研修・講話		チラシ等配布	
	実施回数	対象人数	実施回数	対象人数
介護保険制度	4	316	0	0
高齢者虐待	1	18	3	142
消費者被害	0	0	1	9
権利擁護	0	0	0	0
介護予防・疾病予防(セルフケア)	3	46	1	3
認知症サポーター養成講座	9	250	13	149
認知症高齢者を地域で支える理解啓発	3	282	28	290
家族介護者支援	4	134	1	3
その他	3	54	26	217
合計	27	1100	73	813

(5) 職員の質の向上に向けた取り組み状況

	回数	人数
外部研修	45	81
内部事例検討会等	12	144

《全体のまとめ》

- ・介護予防ケアマネジメント・指定介護予防支援事業における利用者数は、10,010件となり、年度当初に設定した目標(9,600件)を大きく上回りました。前年と比較して596件の増加が見られます。新規利用者は19件増加した一方で、解約者は42件減少しており、要支援状態の維持に一定の成果が出ていると考えられます。
- ・チームオレンジ活動としては2か所の拠点を立ち上げ、週2回のペースで活動を展開しました。しかし、当事者の参加につなげることが課題として残りました。一方で、活動の趣旨を理解し支援してくれるサポーターが徐々に増加しており、次年度の活動拡大に向けた前向きな展望が持てます。
- ・外部研修は事務職員を除く全職員が、少なくとも1回以上の研修に参加しました。各自が関心のある研修会选择し、認知症ケア、地域アセスメント、高齢者虐待防止、ケアラー支援などについて自己研鑽を積む機会となりました。
- ・法人内連携の強化を意識し、第3包括との合同勉強会を年2回開催し、ガウンテクニク実践研修や法人連携セミナー(慈啓会病院との協働)を実施しました。また、施設相談職の連携強化を目的として、偶数月に「相談員レベルアップ会議」を開催。日常業務の課題を共有する場とし、外部講師(オンライン)を招いて、施設入居者が成年後見制度を利用する際の流れなどについて学びました。

26. 中央区第3地域包括支援センター・中央区第3介護予防支援事業所 2024(R6)

○中央区第3地域包括支援センター

(1)相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	100	117	100	102	99	103	104	108	74	102	89	101	1199

(2)給付管理提出数(実利用人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規利用数	34	17	30	36	15	28	32	36	30	24	26	28	336
継続利用数	1008	1028	1016	1004	1011	1018	995	1004	1024	1016	1020	1036	12,180
合計	1042	1045	1046	1040	1026	1046	1027	1040	1054	1040	1046	1064	12,516

(3)オレンジ活動報告

	実施回数	実人数	延人数
ステップアップ講座	2	28	28
スマイルオレンジチームの運営	30	44	109
個別のマッチング	0	0	0
様々な形での立ち上げ支援	8	244	244
認知症サポーター等への活動意向確認	9	13	13
合計	49	329	394

(4)地域住民・関係機関等への情報提供活動

	研修・講話		チラシ等配布	
	実施回数	対象人数	実施回数	対象人数
介護保険制度	5	106	2	9
高齢者虐待	1	14	0	0
消費者被害	0	0	1	18
権利擁護	0	0	0	0
介護予防・疾病予防(セルフケア)	3	67	0	0
認知症サポーター養成講座	7	122	1	1
認知症高齢者を地域で支える理解啓発	0	0	2	9
家族介護者支援	0	0	1	1
その他	1	57	5	77
合計	17	366	12	115

(5)職員の質の向上に向けた取り組み状況

	回数	人数
外部研修	30	56
内部事例検討会等	11	176

《全体のまとめ》

・相談件数は、令和5年度より71件微増。介護予防ケアマネジメント・指定介護予防支援事業における実利用人数は12,516件で、年度当初に設定した1,100件(13,200/年)の目標は未達成。令和6年3月は、1,064件と最高値を記録したが、下半期の補正予算で目標を1,050件に修正し、次年度の目標数も同数としている。理由として、全体数は前年度より264件増だが、前年度の520件に比べると増加の勢いが半減している為。

・外部研修は事務員を除く全職員が1回以上参加。地域マネジメント・高齢者虐待・健康管理・カスタマーハラスメントなど各自が興味のある研修を選択して参加し自己研鑽に努め、高齢者虐待は全体会議でフィードバックも実施し、初回相談時の対応を共有できた。

・法人内連携を意識し、第2包括と合同で勉強会を2回開催。ガウンテクニック実践勉強会と法人連携セミナー(慈啓会病院と包括の連携)を実施した。また、施設相談職の連携強化を目的とした相談員レベルアップ会議を偶数月に開催し、日頃の悩み共有や外部講師を依頼し、施設入居者が成年後見制度を利用する際の流れなどを学んだ。